

Case36: 配車計画システムで物流改革！

配車計画システムで荷主と連携した物流改革を目指そう！

作成例

1. 事業者の概要

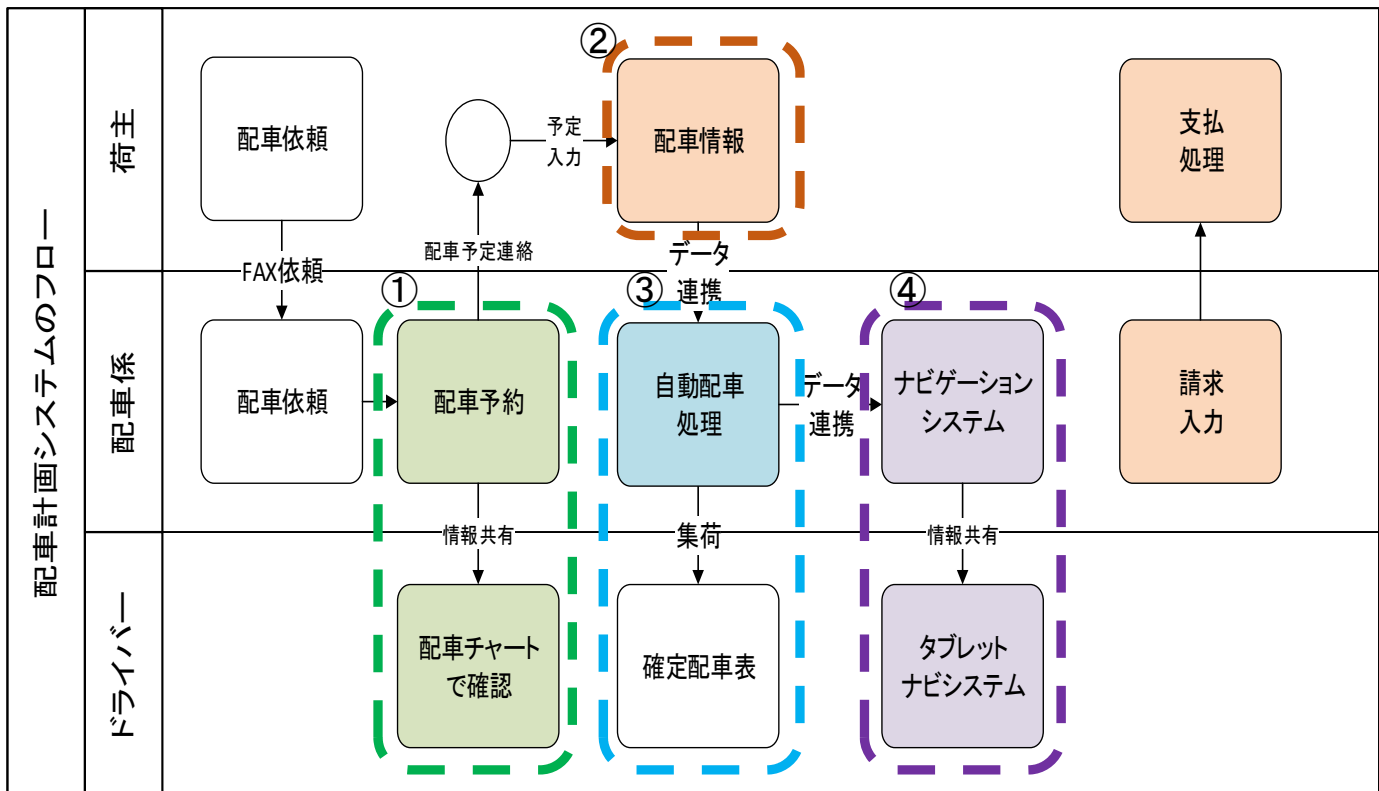
本社・営業所数、	事業所数: 3ヶ所
車両台数	車両台数: 42台
輸送品目	仮設機材
運行形態	物流センターから建設現場までの近距離輸送

2. システム導入の動機

- ◆ ベテラン配車マンの育成は困難なのでシステム化したい。
- ◆ 業務量は拡大しつつある中、IT化で効率化を図りたい。
- ◆ 荷主との業務及びシステム連携が必要。

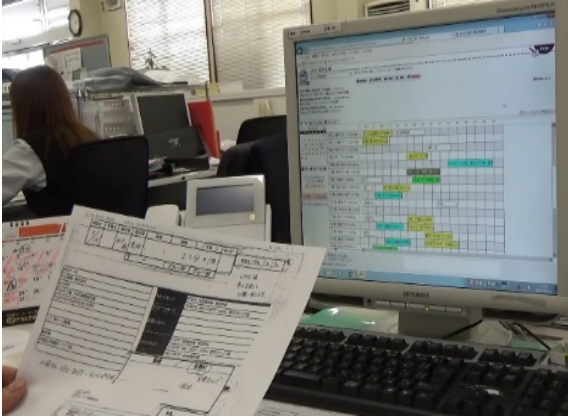
3. システム概要

◆ 配車依頼から運行までの業務プロセスを4つのシステムで連携

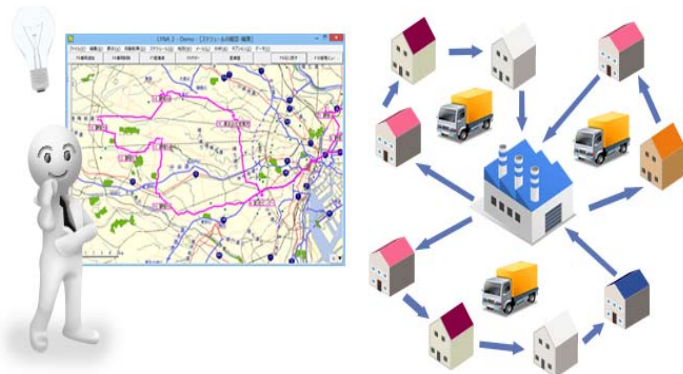


◆ 配車予約システム(クラウド型)①

荷主からFAXで送信される配車依頼書を元に、車両別に日付と大まかな時間をチャートで入力するシステム。(車両予約状況をチャートで確認)



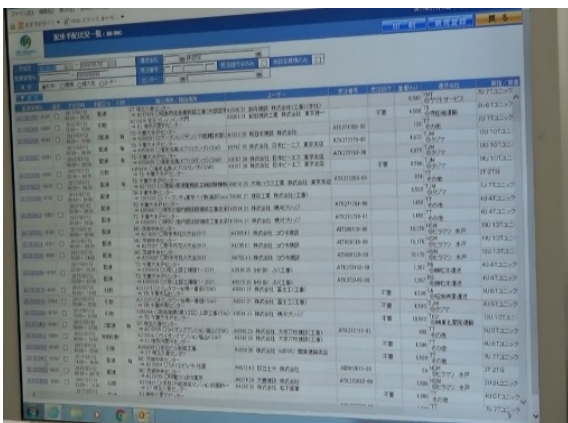
◆ 自動配車システム(AIロジックを利用したパッケージソフト)②



自動配車システムは、積地住所、卸地住所、到着時刻、荷物重量・容積、車両種別などから、AIロジックを使用して、どの荷物をどの車両で何時にどこで積込し、何時にどこで卸すのかを考慮して、自動で配車するシステムである。

◆ 荷主側配車システム③

荷主は、建設会社からリースの受注をして、現場に機材を納入・引取りを行う。この配車システムは、受注現場毎の車両手配を行うシステムであり、運送会社と共有している。



◆ ナビゲーションシステム④

ナビゲーションシステムは、最終確定した車両別運行情報のデータを連携して、車両別の出発時間、経路情報をタブレット(一部スマートフォン)上に表示する、法人向け有償サービス。



4. コスト・期間

費用項目	金額
I. 自動配車システム パッケージソフト及びデータ連携のためのカスタマイズ費用（一時金）及び保守料（年額）	パッケージソフトウェア 6,000,000円 保守料（年） 600,000円
II. ナビゲーションシステム 法人向け有償サービス（月額費用）	管理者システム（4人） 40,000円 ドライバー用（25人） 62,500円
III. 配車予約システム クラウド利用無料サービス	0円
IV. タブレット 法人契約月額費用	タブレット（42台） 252,000円
合計 初期費用	6,000,000円 （142,000円／車両）
月額費用（保守サービス・通信料）	404,500円 （9,631円／車両）

導入段階	期間
システム検討 社内のシステム検討、荷主側とのデータ連携の可能性検討・交渉	2年
システム導入 システム打合せ、マスター整備、カスタマイズ（データ連携等）開発等、導入トレーニング	12ヶ月

5. 導入効果

- ◆ 受注状況、配車状況がすべてわかり、問い合わせ対応もすぐにできる。
- ◆ 荷主からの依頼に対して、すばやく配車予約の回答ができるようになった。
- ◆ 荷主のシステムと連動もでき、ミスや漏れもなくなった。
- ◆ 運行状況までリアルタイムに把握可能になった。
- ◆ 事務の精度が向上し、荷主、納品先にも評価されるようになった。

6. 成功のポイント

- ◆ 将来のドライバー不足への対応を重要課題として取り組み、高齢ドライバーが多い中でも、じっくりと説得して、改革に取り組んできた。
- ◆ 荷主とのデータ連携を図り、車両、荷物、積地、卸地、時間のデータ化ができたこと。
- ◆ 小さな成功を重ねる積上型のアプローチで、少しずつ導入してきた。